

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
(事務局：全国私立学校教職員組合)

No.5 2020年8月7日(金)

全国28都道府県263校に協力していただいた「2019年度(2020年3月)末 経済的理由による中退・学費滞納調査」の青森の結果について、8月6日文部科学記者会で発表しました。

日刊スポーツ

検索
◎ 記事 ○ 写真
パチンコ・パチスロ ▶ 麻雀 ▶ 釣り・趣味・旅 ▶ ショッピング ▶
野球 ▶ M.L.B ▶ サッカー ▶ 海外サッカー ▶ スポーツ ▶ ゴルフ ▶ 相撲 ▶ 格闘技 ▶ 短跑
ニュース 写真 コラム
ホーム > 社会 > ニュース RSS

924人が学費延納申請 コロナによる影響を調査

[2020年8月6日19時45分]

Twitter Facebook

全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)は6日、新型コロナウイルスによる私立高校生への影響を調査したところ、7月末までに35校の計924人が学費延納を申請したと発表した。

東京都内で記者会見した永島民男中央執行委員長は「年度後半、家計が悪化する生徒が増えると危機感を持っている。国や自治体は支援の拡充をしてほしい」と訴えた。

調査は今年6~7月末に実施。全国私教連に加盟する組合がある地域を中心に、27都府県217校の状況をまとめた。全国の日制私立高校の2割弱に当たる。

延納申請者が100人を超えた学校もあったほか、生徒から学費に関する相談を受けている高校も27校あった。

全国私教連は、2019年度末時点で学費を3カ月以上滞納した生徒も調査。回答した28都道府県263校で、533人が該当し、回答者の0・25%だった。

年度内に経済的理由で中退した生徒は36人。国の就学支援金制度もあり、いずれも調査を始めた1998年度以降、最も低い水準を維持した。(共同)

2020年8月6日 日刊スポーツ Web ニュース

しんぶん赤旗 2020年8月7日

学費「9月以降大変」

全国私教連調査 支援拡充求める

全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)は6日、コロナ禍のもとでの私立高校・中学校の実態調査結果を公表しました。コロナ禍の家計急変による学費滞納申請があったと回答した学校は、中・都道府県217校が回答しました。学校は9校、高校は35校に上りました。生徒の申請者数は高校で924人でした。調査は全国私教連に加盟する学校を対象で6月~7月に実施。27都道府県217校が回答しました。文部科学省で会見した全国私教連の山口直之書記長は、学費の前倒し納入は3月に行われたことから、コロナ禍の影響は「9月以降の

調査結果について発表する全国私教連は6日、文部科学省で記者会見した。後が大変」という声が多かった。生徒のセーフティネットの確立が必要だ」と強調。家計急変補助制度の充実を国と自治体に求めたいと話した。2019年度の経済的理由による学費滞納調査の結果も同時に発表。私立高校263校が回答した結果、経済的理由で中退した高校生は36人と、調査開始



以来過去最低だった前年度の32人と比べ微増しました。全国私教連の永島民男委員長は「国や自治体の補助などのいっそうの拡充を求めました。」

連日の猛暑日となった京都・法観寺周辺を日傘を差して歩く人たち。6日、京都市東山区

